

落合の子どもたちの学力は

今年も、6月12日(火)に県内小学5年生と中学2年生の全員を対象に、一斉に「基礎基本定着状況調査」が実施されました。これは、国語と算数についての基礎・基本となる学力の定着状況を調べ、それぞれの学校の課題を明らかにしようとするものです。

対象は5年生ですが、学年を特定した見方をするのではなく、本校全体の学力の傾向を示す資料の一つであるにとらえています。過度に数値にとられることなく、普段の学校の状況と照らし合わせながら今回の結果を分析することに意味があります。今回の結果を十分に分析し、私たち教職員が、一丸となって、さらに、家庭、地域の協力を得ながら子どもたちの学力向上、生きる力の育成に当たっていきたくと考えています。

つきましては本校の定着状況の実態や意識等について、皆様の一層のご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

『 調査内容 』

国語科・・・2～4年生の内容「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」

算数科・・・2～4年生の内容「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」

生活と学習に関する意識調査・・・家庭や地域での過ごし方についての設問

1 国語

【基本的な漢字や語句を理解し、文章を正しくとらえる力を身に付け、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする力や論理的に書いたり読んだりする力を身に付ける。】

(1) 通過率

市 平均 63.7 % (30%未満3.8%、80%以上19.2%)

学校平均 69.5 % (30%未満1.1%、80%以上23.9%)

(2) 達成状況

相手や目的に応じて適切に書く力はついてきた。

段落相互の関係を考えて書く力は不十分である。

文と文のつながりを考えながら読む力はついてきた。

叙述に即して想像しながら読む力が不十分である。

(3) 今後の重点課題

書くことの抵抗を少なくし、書くことへの意欲を持たせるよう、題材収集や作文指導などをし、書くことを好きにさせる。

語と語や文と文の関係を考えたり、叙述に即した文の読み取りができるようにさせたりする。

(4) 方法

- ・ 説明文の構成に着目した読み取りを行う。
- ・ 論理の展開を考慮して書くことを意識させる。
- ・ 相手を意識させ、段落の役目を考えた文章の書き方を指導する。
- ・ 書くことに慣れさせ、授業の中に書くことをできるだけ多く取り入れたり、日記を書いたりさせる。
- ・ わからない言葉は辞書で調べるなどして、語彙量を増やす。
- ・ 説明文では、段落相互の関係をまとめる力を付けるようにする。
- ・ 物語文では、場面や登場人物の想像しながら、読みを深めるようにする。
- ・ 語と語、文と文の関係などに注意して読むようにする。
- ・ 朝読書を推進し、読書の習慣をつける。

2 算数

【数量や図形などの基礎的な知識・技能を身に付け数学的な見方や考え方、論理的な思考ができるようになり、それらの知識、技能、見方や考え方を様々な場面で生かそうとする力をつける。】

(1) 通過率

市 平均 75.8 % (30%未満2.1%、80%以上53.5%)

学校平均 80.1 % (30%未満0.0%、80%以上59.8%)

(2) 達成状況

数と計算、数量関係は力を付けてきている。量と測定の領域が不十分である。

(3) 今後の重点課題

基礎的な技能について、繰り返し継続的に指導を行い、習熟定着を図る。

全ての児童がその子に応じて、日常生活の中で、数量・図形などについて基礎的な知識・技能を身に付ける。

(4) 方法

- ・整数、小数、分数の仕組みに目を向け、理解を深めさせる。
- ・分数の単元では分数の基本の意味をしっかりと身に付けさせ家庭学習用プリントを作成したり、個別指導を行ったりする。
- ・図形学習の単元では作業活動を多く取り入れ、一人一人に応じた指導をする。
- ・計算の順序を判断して計算できるように、法則に慣れ習熟できるようプリントやドリルで繰り返す。
- ・引き続き家庭学習用プリントや授業前の小テストに四則混合の計算などを取り入れ繰り返し練習することで習熟を図る。
- ・図形学習の単元では、形の定義をしっかりと押さえ、作業活動を多く取り入れ、特にコンパス・分度器の使用に慣れさせる。
- ・かさを任意単位として考える学習を復習する。
- ・学習内容をきちんとノートにまとめ、学習を振り返るようにする。
- ・他教科や日常生活においてもグラフを活用する習慣を身に付けさせる。

3 生活面調査結果より

- ・起床時刻や就寝時間が一定していない。
- ・読んだ本について、友人や家族との語らいが不足している。
- ・自分のよさが周りの人から認められないと感じている。

4 総合的に見て

今年度は、通過率30%未満の児童についてほとんど0%に近く基礎基本の学習が定着していない児童は少ないことが分かります。通過率80%以上の児童の割合も、市の平均より多くなっており、国語を中心とした本校の取り組みの成果が現れてきています。

学校としては、この結果を受けて、基礎基本の定着状況をさらにアップしていきたいと考えています。そのためには、

「早寝、早起き、朝ご飯を食べる」等の基本的な生活習慣を大事にしていく。

TVの視聴やTVゲームの時間を少なくし、読書や学習の時間を増やす。

など、ご家庭でのご協力もお願いします。